

# 八女筑後地区介護事業所連絡協議会

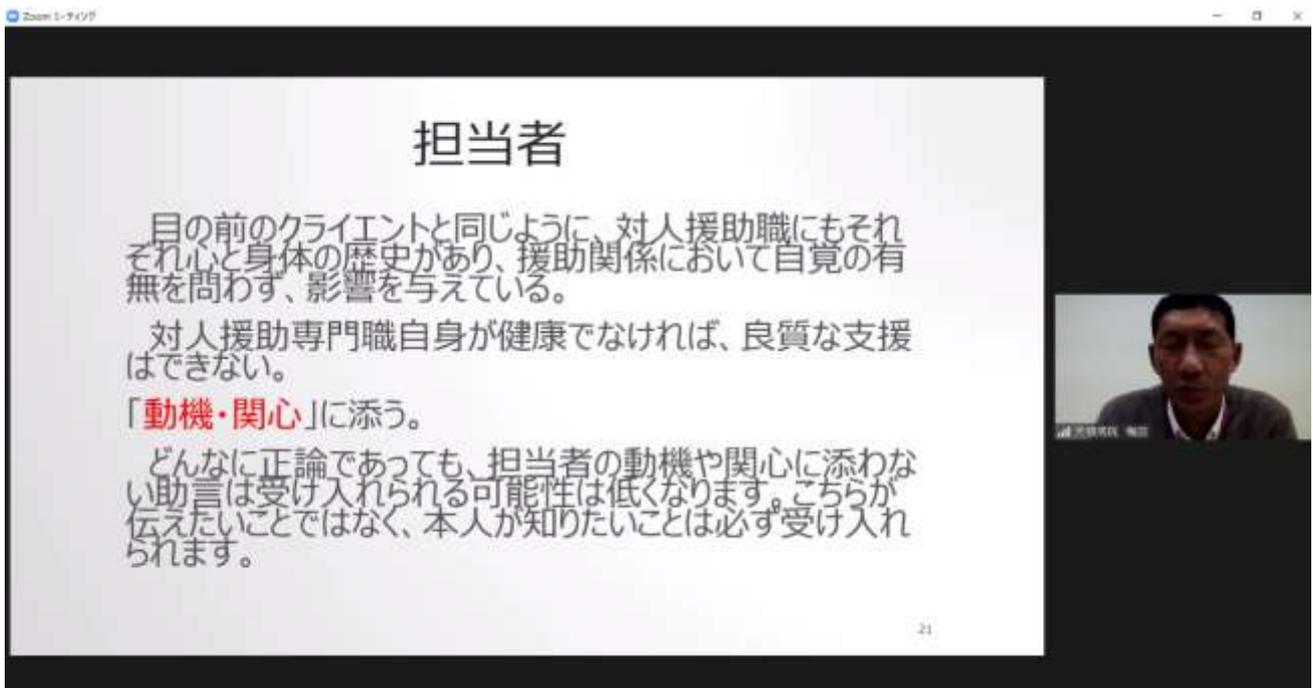
## 介護支援専門員部会研修会議事録

作成日 令和4年2月18日

作成者 中園 淳子

(八女市黒木地域包括支援センター)

1. 研修会名称 令和3年度八女市地域包括支援センター・八女筑後地区介護保険事業連絡協議会  
介護支援専門員部会 合同研修会
2. 開催日程 令和4年2月7日 13時00分～16時00分
3. 開催場所 ZOOM 使用によるリモート講義
4. 講師 大牟田天領病院 梅田正嗣先生
5. 出席者人数 61人
6. 研修内容  
「共成長を目指すスーパービジョン」  
講義とグループワーク



**担当者**

目の前のクライアントと同じように、対人援助職にもそれぞれ心と身体のある歴史があり、援助関係において自覚の有無を問わず、影響を与えている。

対人援助専門職自身が健康でなければ、良質な支援はできない。

**「動機・関心」**に添う。

どんなに正論であっても、担当者の動機や関心に添わない助言は受け入れられる可能性は低くなります。こちらが伝えたいことではなく、本人が知りたいことは必ず受け入れられます。

21

(iv) 個人【ミクロ】と地域【メゾ】と社会【マクロ】の循環を対象

- 循環によって課題を制度・政策へ展開、適応性の向上
- △制度の複雑化、煩雑
- ★統制のバランス



## 7. アンケートについて

- アンケート回収数 48名 78.7%
- 研修内容は とてもよかった16名 33.3% よかった32名 66.7%
- 今後の業務については とても役に立つ16名 33.3% 役に立つ32名 66.7%
- zoomを利用したオンライン形式の研修について
  - 参加しやすかった44名 91.7%
  - 操作が難しい4名 8.3%

## 8. 感想

- Zoomでの研修で小グループに分かれて意見交換できてよかった。
- 事例を用いてアセスメント・情報収集の視点を分かりやすく学ぶことができた。
- 課題を考える際やクライアントに対応する際のポイントや多重的な考え方が参考になった。
- 問題解決をしていく上で、一元的な見方だけでなく円環的思考を持つことが大事だと感じた。
- スーパービジョンについては、主任ケアマネ更新でも学びはしますが、実践で活かす事が出来るようになるには、繰り返し学んだり、ロールプレイ等で練習する事が必要だと思いますので、また企画して頂けたらと思います。
- 聞き慣れない言葉が沢山でてきて戸惑いしましたが、自分がどういう視点でアセスメントしようとしているのかを意識しながら行う事も大切だという事に気付きました。

## 9. 運営側からの「所感」

- スーパービジョンは主任ケアマネの更新研修等で学ぶ内容ですが、利用者さん、家族の支援を行う上で、有効な方法である為、ケアマネさんにも学んで頂き、実務の中で活かして頂くように研修を企画致しました。当日10名程度、新型コロナウイルスの蔓延の影響で受講出来ない方がおられたのは残念でしたが、多くのケアマネさんに受講して頂きました。今後、実務の中で活かして頂けたらと思います。

## 10. 運営にあたって「うまくいった点・うまくいかなかった点」

- 新型コロナウイルスの蔓延防止の為に今年度はオンライン研修を行っていたが、初めて使用してブレイクアウトルームなどが運営側の分け方や不慣れなところもあり上手くいかなかった。
- ブレイクアウトルームのグループにより意見が出たり、出なかったりと差があったようです。司会（進行）の担当を研修開始前に決めておくスムーズに進めることができたのではないかと思います。
- 事務所内で受講されている方も多く、Zoomでの研修は良かったと思います。半面、グループワークでは外部の音を拾うので発言が聞こえ難い等がありました。グループワークがある場合、基本的にイヤホンマイク使用の提案をした方が良かったと思います。
- たくさんの資料を準備いただいたのに、途中までで終わってしまったのは残念でした。

以上